

平成24年度第1回大和市総合計画審議会 会議要旨

- 1 日 時 平成24年4月23日（月） 午前9時40分～午前11時30分
2 場 所 大和市地域医療センター 2階講習室
3 出席者 委員 9名（欠席2名）
4 傍聴人 2名
5 次 第

（1）開会

（2）議事

- ・市民意識調査の結果報告
- ・任期満了に伴う委員改選について
- ・施策評価について

（3）その他

6 会議資料

資料1：平成23年度第8次大和市総合計画に関する市民意識調査集計結果（概要）

資料2：総合計画審議会委員の改選について

資料3-1：第8次総合計画の進行管理と施策評価の導入について

資料3-2：「めざす成果」中間目標までの評価～施策評価～

【議 事】

職務代理：議事の進行上、（1）市民意識調査の結果報告については最後に説明を受けることとしたい。事務局より資料2について説明をお願いしたい。

事務局：資料2「総合計画審議会委員の改選について」説明

職務代理：質問、意見等はいかがか。

各委員：（意見なし）

職務代理：では、そのように進めることとする。

職務代理：事務局より資料3-1、3-2について説明をお願いしたい。

事務局：資料3-1「第8次総合計画の進行管理と施策評価の導入について」及び資料3-2「めざす成果」中間目標までの評価～施策評価～」について説明

職務代理：平成22年度、23年度の2カ年かけて総合計画の進行管理を単年度ごとに行ってきたが、施策評価については複数年度にまたがって評価を行い、後期基本計画策定に係る基礎資料とするもの。質問、意見等はいかがか。

委 員：昨年度まで進行管理を行ってきたが、審議会委員は外部の人間として自身の専

門分野については見識を持って評価できるが、幅広い市の施策全般を評価することは難しい。施策評価においても同様のことが危惧される。

施策評価における一次評価は担当部が行うとのことだが、担当部としては無難な結果となるように評価を行うのではないか。そのような中で、有効な提案を行うためには多くの情報が必要である。一次評価のやり方や審議会への情報提供のあり方については、慎重に検討する必要がある。例えば各担当部ではなく、政策部が大所、高所から内部評価に関する情報提供を行ってはどうか。現状のままだと審議会として二次評価を行いにくい。

事務局：本日お示しした資料はまだ完成形ではない。資料提供の方法は工夫したい。

委員：達成度を分かりやすく示してほしい。担当部が自身で所管している施策を良くアピールしたいと思うのは当然。現場が課題として捉えていることを記述してもらうと、市民目線で答えやすいのではないか。

委員：現在示されている施策評価シートの指標をより目標値に近づけるため、例えば他市の事例を持ち寄って、こうした方がいいと提案するのが委員の仕事だと思う。また、事務事業評価で結果が良くても、施策評価において目標の達成に貢献していないと判断されれば、事業を止めることも考えられる。事務局が全ての資料を作成するとなると大変である。進行管理において、総計審で提言を出しており、それに対して担当部の対応について回答をもらっている。それをまとめて次の計画に反映されているのかいないのか、足りているのかいないのかを議論することが施策評価にとって重要ではないかと思う。

職務代理：他市の事例で紹介するとしたら、どのようなものがあるか。

委員：役所は必要と思って事業に取り組むが、市民感覚では必要性が低いと感じるなど、ズレが生じていることもある。極端な例でいえば、子育て支援で評判が悪い市と良い市がある。調べてみると、良い市は紙おむつを無料で配布しており、子育て世代の市民には評判が良い。だからといって、大和市でも紙おむつを配れば良いということにはならないと思うので、そういった点を議論していくのが良いと思う。

職務代理：医療経済の分野においては、費用対効果が重要で、投入資金に対する効果を見ていかなければいけない。

委員：視点を変えて都市間の問題を比較してみてもどうか。日本経済新聞で持続可能な都市について調査をしている。大和市は有効回答のあった630市のうち、14位であった。前回の調査では28位である。他市と比較するという見方も必要ではないか。

委員：本市在住ではない審議会委員の方もいるため、例えば議論にヤマトンが出てきてもイメージが湧かないのではないか。個々の事業における取り組み内容に関して詳細が分からないまま議論が進むことには、問題があると思う。

委員：同じような施策を他部署で行っていることがあり、関係性が分かるような資料提供があると分かりやすい。

事務局：複数部署にまたがっている施策については、関係性を考えながら、より一層横

断的な視点で捉えるように注意する。

- 委員：同じような施策をまとめることによって、議論しやすくなるのではないか。
- 委員：我々は社外取締役のようなもの。日々の行政の執行に携わっているわけではないので、年何回かの会議で市の評価を行うことは非常に難しい。行政が、この市をもっと良い方向に変わらせるために、ここを変えたいというメッセージを分かりやすい形で示してもらうことで審議会として議論ができる。
- 委員：パワーポイントを使ったり、資料に画像を入れる等視覚情報を取り入れ、イメージのわくような資料の作り方を検討してほしい。
- 委員：これから大和市で芸術文化に関わる施設を作っていくが、他市の美術館等がどのような運営をされているか持ち寄ることもできると思う。映像を使ったプレゼンテーションなども視野に入れてはどうか。

-
- 職務代理：事務局より資料１について説明をお願いしたい。
- 事務局：資料１「平成２３年度第８次大和市総合計画に関する市民意識調査集計結果（概要）」について説明

- 職務代理：質問、意見等はいかがか。
- 委員：回答者の属性を見ると、戸建住宅を持ち、２０年以上在住、子どもがいない、親と子の２世代世帯の市民の回答数が多い。「分野別の重要度・満足度クロス分析」については、文化・生涯学習、子育て施策や就労施策が低く、回答を寄せている層から考えると当然の結果と思われる。

- 職務代理：サンプルバイアスがあると思う。コンサルティング業者を活用して詳細なチェックをしてはどうか。

- 委員：満足度の高い医療などについては、市の施策の結果か、国の施策の結果かを見極める必要があると思う。

- 委員：地域により発送数が違うのは何故か。

- 事務局：完全な無作為抽出である。各地域の居住者数の割合により発送数に差が出ている。

- 委員：地域的な意識の差がある可能性も分析してほしい。

- 委員：年齢や地域による回答数の差について、修正方法はあるか？

- 事務局：やり方はあると思う。

- 職務代理：サンプルバイアスの修正は可能。前回と回答率の差はあるか？

- 事務局：前回と回答率はほぼ同様。前回と比較すると、若干だが回答においても年齢構成が高くなっている。

- 職務代理：やはり「分野別の重要度・満足度クロス分析」が最も重要と考えられる。前回の結果との比較があればよかった。

- 事務局：前は８項目を調査した。今回は項目数を増やしているので単純に比較できな

いが、おおよその比較については検討してみる。

職務代理 : 地域別・年齢別にも行ってほしい。

委 員 : 市行政がどの分野にどのくらいの人件費、事業費を投入しているかを見てみたい。

事務局 : 建設事業や生活保護などは大きな事業費が必要となる。参考になるようであればお示ししたい。

職務代理 : 円グラフがあると見やすくなる。

委 員 : 東日本大震災以降、どの市町村も災害に対する意識が強まっている中であって、比較的、大和市は防災に対する重要度は高くない。防災よりも医療や防犯のウェイトが高いところが大和市の特性と言えるかも知れない。

職務代理 : 医療については、市立病院の改善が評価に繋がっているのではないかな。行政が頑張っている結果と考えられる。

委 員 : サステナビリティ（持続可能性）が高い自治体は高評価となる。

【その他】

事務局 : 次回の日程は 5 月下旬を目途に、調整のうえ後日お示ししたい。

各委員 : 了解した。